

8-4-37 PM専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) PM 専門委員会の開催

主に建設コンサルタントがインフラ整備事業に関するPM/CM関連業務へ参画し、業容の拡大を図ることを目的として、令和元年度の専門委員会を10回開催した。

(2) 令和元年度マネジメントセミナーへの参画

マネジメントシステム委員会傘下の専門委員会として参画した。

a) セミナーの概要

- ・開催日：令和元年7月2日～30日
- ・場所：建コン協9支部提供の会場
- ・参加人数：1,390名

b) PM 専門委員会対応個所「CM方式の更なる活用に向けて」

① 発注者支援業務とCM方式の相違や特徴、CM方式の課題を受け、今後の建設コンサルタントが目指すCM方式について説明した。

② CM方式に対する最近の動向について、CM方式に対する国等の動き、CM方式・事業促進PPP方式の導入状況、CM方式導入に対する発注者の意識の変化等について解説した。

③ 今回のセミナーの中心的内容として、平成30年2月に改定した「CM方式活用の手引き(案)」(以下、「手引き」という。)の改定概要や建設コンサルタントとしての手引きの活用方法等を中心に解説した。

④ CM方式等の導入5事例を参考資料として、CMRが実施したマネジメント(品質管理、工程管理、リスク管理等)について紹介した。

(3) PMセミナーの開催

a) セミナーの概要

- ・開催日：令和元年12月16日
- ・場所：FORUM8(渋谷)663会議室
- ・参加人数：76名

b) 講義内容

① CM方式の定義や特徴等について解説した。

② 手引きの概要を説明した。

③ 関東圏における事業促進PPP方式の2事例について事業概要、CMRの役割等について紹介した。

④ 地域に密着したCM方式3事例について、CM方式の導入背景やCMRの役割について紹介した。

(4) 各支部との意見交換会の実施

地域でのCM方式の普及活動に対する行動計画立案のために9支部と意見交換会を開催(7月～9月)し、各支部でのCM方式に関する認識度や普及活動等に対するニーズについて把握した。

(5) PM/CM講師派遣

令和元年度は、近畿支部が企画立案した和歌山市への講師派遣を支援し、手引きの概要説明、身近なCM方式の事例紹介等を行った(10月16日：市参加者6名)。

(6) 土木学会建設マネジメント小委員会への参画
監理業務委託契約約款、共通仕様書等の内容に関して、委員としてCM方式の普及活動を支援。

(7) 国土交通省CM制度検討会への参画

国土交通省土地・建設産業局で検討されている地方公共団体を対象にした「ピュア型CMガイドライン(案)」に対し、共通仕様書並びに標準契約約款の作成に携わった。

2. 次年度の活動について

① マネジメントセミナー、PMセミナーの開催により、CM方式に対する技術の習得とCM方式の導入促進を図る。

② 支部との意見交換結果を反映した地域での普及活動(地域でのセミナー、CM方式等の仕組みの改善状況等の情報提供等)を展開する。

③ CM方式並びに事業促進PPP方式の導入事例をモニタリング・分析・評価して、策定した手引きの更新や国等への要望と提案の基礎資料に活かす。

④ 地方公共団体等へのPM/CM講師派遣の継続や土木学会と連携したセミナー開催等を企画し、CM方式の普及に努める。

(PM専門委員会委員長 畔柳 耕一)